



はんだっ子通信

6年生がタデ原湿原でキッズガイドを行いました

7月11日(土)待ちに待った6年生のキッズガイドがありました。この本番に向けて6年生のタデ原湿原見学や調べ学習が始まった時、飯田小学校にはとても素晴らしい取り組みがあるんだなと感心しました。これまでいろんな学校で地域の特色に合わせた総合的な学習の取り組みを見てきましたが、子どもたちが一般の方と触れ合う実践は見たことがなかったからです。子どもたちは、自分の調べたいテーマを決めて、一人ひとりが見事に立派なガイドのプレゼンを仕上げました。当日おそらく子ども一人につき10組ほどの一般の方々が子どもたちのガイドを聞きに来てくださいました。その中で、県外から来られた方が「とても素晴らしい取り組みですね。」とってくださいましたことが忘れられません。「近所の学校でも見習ってしてほしい。」とまでってくださいました。子どもたちに素晴らしい経験の場を与えてくださりありがとうございました。



飯田地区まちづくり協議会と、別府市の立命館アジア太平洋大学(APU)の学生さんとの交流会を取材しました。学生さんたちによる九重町の研究ということで、飯田の町並みが1970年代どうなっていたのか地元の方にガイドしていただきながら一緒に歩きました。飯田地区には昔自動車学校や芝居小屋などがあったと聞いて驚きました。学生さんたちは知り得たことを地図にまとめたり、自分たちが別の方のためにガイド役を務めたりしたそうです。このような素晴らしい交流会が、飯田地区で行われていることに感動しました。



ケーブルテレビを見てください。

――学期末PTAにお忙しい中たくさんのおうちの方々にご参加いただきました。今回は午



前中の授業参観に加えて、給食試食会、救命救急法講習、PTA全体会、学級懇談がありました。

盛りだくさんの活動ではありましたが、みなさん最後までご参加くださいました。とりわけPTA全体会では、飯田小PTAを持続可能な組織とするため前向きなご意見がたくさん出されました。みなさん本当にありがとうございました。

